

第71回 日本PTA全国研究大会 広島大会

「時代の変化に向け、PTA自身が学びの変革を！」

～見つけ 考え かわろうや ぶち楽しいで！！～

広島から全国へ

2023.8.25 分科会

2023.8.26 全体会

参加報告

大阪府PTA協議会

安田 友紀

厳しい残暑が続く8月25日、第71回日本 PTA 全国研究大会広島大会が開催され、大阪府 PTA 協議会から役員・理事合わせて13名が参加しました。

大会1日目は広島県内7カ所の会場に分かれて、8つの分科会が開催されました。私は広島市で行われた日本 PTA 担当の特別第1分科会に参加させていただきました。

特別第一分科会では、『世界で活躍する人材を育むために～これからの国際化に対応できる力とは～』と題して、独立行政法人 国際協力機構 中国センター所長である村岡氏の基調講演からスタートしました。

通称 JICA と呼ばれるこの団体は、日本の技術や経験を活かして開発途上国の社会や経済の発展を支援することを目的とし、日本の企業や団体と連携しながら適切な援助を行うコーディネーターの役割を果たしているようです。冒頭では、村岡氏の長きにわたる海外赴任での経験談をお話いただきました。国際協力といってもその方法は多岐にわたり、技術協力ひとつをとっても9つの分野で120以上の職種が存在していることに驚きました。

このような活動の必要性には、人道的理由や依存・共生の考え方があり、そして印象に残った「恩返し」の意味があるとおっしゃっていました。そこには、理由として終戦後国際協力の被援助国であった日本があげられます。海外からの援助によって発展し、近代化することができた背景があると考えます。被援助国としての経験を持ち、その痛みを知っているからこそ、開発途上国へのきめ細やかな支援をすることができるのだと感じました。

続いて実践発表では、AIC 国際学院より総校長の横田氏と大阪初等部校長の熊谷氏にお越しいただき、実際に行われている授業のカリキュラムや目指す子ども像についてお話をうかがいました。自主性や探求心を伸ばす国際バカロレアの教育方針に則った指導を展開しており、自ら考え学び、解決する力が必須であると力強く語っていらっしゃいました。特に英語教育には力を入れており、発音よりもコンテンツ、ネイティブでなくてもアウトプットする発信力を大切にされているそうです。実際に会場では、私たち保護者同士でもいくつかのお題について隣同士でディスカッションを行い、正解を導き出すことよりも自分の意見をどのように伝えるか、また相手の考えを受け入れることの大切さを体感しました。

分科会最後の討議では、世界で活躍する人材とは、そして活躍するために必要な力、また PTA としてできることなどが討議の視点として挙げられ、パネリストの皆さんそれぞれの立場で意見が交わされました。国際化は今後さらに加速する流れにありますが、学校教育だけの力では限界があります。子どもたちの可能性を広げるためには、私たち大人も学び、時代に即した教育について考える貴重な機会となりました。



分科会会場・リーガロイヤルホテル広島



特別第一分科会参加メンバー



平和記念公園と原爆ドーム

大会二日目は、全国より7000人近くのPTA会員が広島県立総合体育館に集いました。

歓迎アトラクションでは、広島を拠点に活動する広島ジュニアマリンバアンサンブルの皆さんの元気いっぱいの演奏で開幕しました。小さなからだで全身を使ってイキイキと表情豊かに演奏する姿とその完成度に変化感動しました。世界中の平和を願って国内外で活動されているそうです。素晴らしいパフォーマンスに会場は一気に盛り上がりを見せました。その後開会宣言が行われ、次年度開催地である川崎市へとバトンが渡されました。

そして全体会の記念講演は黒川伊保子氏による講演です。テーマは、『心のトリセツ～「逃げ癖」を「意欲」に変える脳科学～』という興味深い内容でした。

はじめに、今夏の全国高校野球選手権で107年ぶりに日本一となった慶応高校の森林監督の「楽しむ野球」などを例に、昨今のスポーツ業界についてお話されました。がむしゃらに邁進して優秀な結果を残す時代から、発想力や対話力の時代へ。まず自分が遊ぶことから始めて脳を楽しませることが大切、そして失敗を恐れない精神は長期の戦略を育てる力が培われるそうです。

またコミュニケーションストレスの正体には、とっさの脳の使い方異なる二者間で起こるミズが原因だということ脳科学的に説明していただきました。特に男女の間で起こりやすい考え方の違いである「ことのいきさつ派・共感型」と「今できること派・問題解決型」について、具体的な心の通わせ方を教えていただきました。肯定的な言葉である「いいね」や「わかる」で受け答えをすること、とにかく共感する気持ちが大切だそうです。

このように相手の気持ちに寄り添い、タイプによって思考回路を使い分けることができれば、柔軟な問題解決や意志決定をすること、させることが出来るだろうと思います。さらに、ご自身の家庭でのエピソードを交えながら、すぐにでも実践できそうな対話の奥義を学びました。また黒川氏の声のトーンや話し方は女性として見習うべきところがたくさんあり、個人的にも大変有意義な時間となりました。子どもたちが「感性の翼」をひろげられるよう、毎日の生活の中に取り入れたいと思います。

今後ますますグローバル化が進み、多様性が尊重される時代へ向かっている中で、今回参加した分科会や講演会の内容にはテーマに合致するところが多く、まさに今大会のスローガンのなかにある「学びの変革」を実感できる実りある二日間でした。今回の参加で得た多くの「まなび」をこれからのPTA活動に活かし、変わりゆく新しい時代へ繋げていけるよう取り組んでいきたいと思います。

最後に、広島大会の開催にあたり力を尽くしてくださったスタッフや関係者の皆さまに、全国の仲間と学ぶ共感の場を与えてくださったことに感謝申し上げます。

2023.9.7



全大会会場・広島県立総合体育館



広島ジュニアマリンバアンサンブルの皆さん



大阪府 PTA 協議会参加メンバー